耕そう、大地と地域のみらい。

JA山口県

JAやまぐちけん

未来・幸せ・真心をつなぐ

2026
3
[vol.83]

山口県農業者団体交流研修会

農スマイル／なるほど営農ボックス／統括本部だより
レシピ／直売所おやつめぐり ほか

https://www.ja-ymg.or.jp/

JA山口県 検索

県内初の団体間交流

農業発展への一歩

山口県農業者団体交流研修会

山口市小郡のJAビルで令和8年1月18日、山口県農業者団体交流研修会が「山口県農業法人協会」、「山口県集落営農法人連携協議会」、「山口県農村青少年クラブ連絡協議会」、「山口県農業士協会」、「山口県農協青壮年部」の農業者5団体主催で開催されました。

この交流は、将来の山口県農業を見据え、次代を担う農業者の就農促進と定着、生産から販売までの経営課題の解決を目的としており、キックオフとして、5団体が連携し、組織横断的なネットワーク構築、連携強化に向けた交流と学びを深めるために開催しました。

研修会では、県農業士協会の梅川仁樹会長が山口県農業の情勢報告を行い、経済ジャーナリストの須田慎一郎氏の記念講演、さらに5団体代表者によるパネルディスカッションが行われました。

当日は、5団体に加入している農業者のほか、一般を含め約250人の参加があり、これからの山口県の農業について真剣に耳を傾け、多くの質問や意見が出ました。

また、研修会終了後、参加者同士の交流の場が設けられ、団体の枠を超えた新たなつながりも生まれました。

この交流研修会を契機に、5団体で更に連携を深め、山口県農業の持続と発展に向け協議を進めていく予定です。

JAやまぐちけん
JA山口県広報誌
2026.3月号
[vol.83]

〈目　次〉

02 山口県農業者団体交流研修会
04 農スマイル
06 なるほど営農ボックス
08 つながりの輪
10 ローカルトピックス
12 統括本部だより
14 掲示板
15 お知らせ
16 農業川柳コンテスト結果発表
18 ホットニュース
20 健康応援
21 レシピ・お便りコーナー
22 クロスワード
23 JAの概要
24 直売所おやつめぐり

下関統括本部

今月の表紙

汐風農園

代表　**中野（なかの）　優利（まさとし）**さん（36歳）

■栽培品目：ホウレンソウ、サツマイモ、サツマイモ苗、白ネギ
■栽培面積：ハウス7棟　16.8a　露地40a
■栽 培 歴：7年

土づくりにこだわり、野菜の見た目の美しさと鮮度が自慢です。今後も色々な作物にチャレンジします。いただきま～と川中店や下関東部店、スーパー等へ出荷していますので、ぜひ味わってみてください。

情勢報告

県農業士協会 梅川仁樹会長が、「山口県の農業情勢について」と題して講演を行いました。県内の基幹的農業従事者の平均年齢は72・5歳で20年連続全国トップと、高齢化の課題が報告され、農業産出額も20年間ほぼ横ばいで、県内消費のうち約500億円が県外産に奪われていると分析。今後は販売や流通インフラがカギとなり、直売所や量販店、その他の外食産業など、それらの消費を補う地域ごとの産地化の検討を提案しました。また、農産物の調整や物流について、県独自に生産と消費を結ぶ出口戦略が必要と訴えました。

山口県農業士協会 会長 **梅川 仁樹**氏

記念講演

「どうなる日本経済、そして日本の農業」と題して講演。

全国で賃上げが進んでいる現状に「安いものを作るのではなく、より消費者が求めているものを作っていく必要がある」と話しました。

経済ジャーナリスト **須田 慎一郎**氏

特別企画

5団体代表パネルディスカッション

進行役を山口県農協青壮年部の藤岡義宏委員長が務め、「山口県農業の未来」をテーマに5団体代表者が登壇しました。現状の課題や解決策などディスカッションし、団体間連携による産地リレーや物流の効率化へ活発な意見も交わされました。

参加者からは、「ぜひ、実現する会にしてほしい。それに向けて協力は惜しまない」「各団体と相談しながらつながれる体制づくりをしたい」など前向きな発言が相次ぎました。

山口県農業法人協会
松村 正勝会長

進行役 山口県農協青年部
藤岡 義宏委員長

山口県農村青少年クラブ連絡協議会
藤井 亮平会長

山口県農業士協会
梅川 仁樹会長

山口県集落営農法人連携協議会
野村 文雄会長

美祢市美東町綾木　井上（いのうえ）竜也（たつや）さん（38歳）
朋子（ともこ）さん（48歳）
繁殖牛農家：母牛12頭、子牛11頭、牧草栽培約6ha

人も牛も健康第一！

夫婦で畜産をはじめたきっかけは？

竜也さん　高校卒業後は調理師専門学校に進学し私は板前として、妻はホテルの従業員として働いていました。専門学校時代、ホテルでバイトしていた時に妻と出合い、2012年に結婚。長男も誕生してまさに順風満帆でしたが、15年に繁殖牛農家を営む父がわずか1年の間に2度の大病に見舞われました。母1人での経営が難しくなり、私達も「いずれは家業を継がなければ」と感じていたので、夫婦で飲食業から畜産業に転身。それから16年に山口県立農業大学校のやまぐち就農支援塾担い手養成研修自営就農コースで1年間畜産について学びました。

愛情を込めて
牛に接する朋子さん

当時を振り返ってみてどうですか？

朋子さん　飲食業から未知の世界へ飛び込んだわけですが、息子も小さく生活環境の変化や、本当にこれから食べていけるのか不安でした。でも「やるしかない」ですよね。幸いにも義父の病気が改善に向かい、後遺症は少し残りましたが、今も両親が頑張って助けてくれます。牛を育てるには朝と夜の2度の餌やりは必ずしないとけない。そうなると家族旅行などは行けないのですが、それを両親が快く代わってくれる。本当に感謝です。

夏は体調管理、冬は子牛のウイルス感染に細心の注意を払う

掃除は牛の健康維持と疾病予防のために非常に重要

ホイルローダーを使っての糞尿の掃除もかかせない

繁殖牛農家として苦しかったこと、嬉しかったことは？

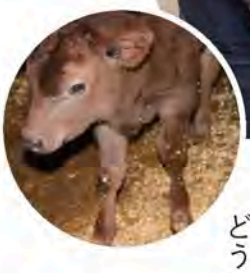
竜也さん　コロナ禍の需要の急減によって、価格が下落した時はかなりの影響がありました。また生産資材価格の高騰、特に配合飼料や肥料、光熱動力費が上がると生産コストも増加して経営を圧迫します。このため牧草のイタリアングラスやミレット、ソルゴーなどを自家栽培してコスト削減に努めています。その際には農地中間管理機構に栽培に適した圃場を紹介してもらい大変助かりました。他にも市・JAの制度を利用して、サポートを受けながら資金の相談を親身になって対応してもらえたこともありがたかったです。多くの皆さんの支援や声をかけてもらえることが励みになっています。

掃除の行き届いた牛舎

大切にしていることは何ですか？

朋子さん　始めた頃、ペットの犬しか飼ったことがなかった私に義父母は「生き物を育てることは、命を預かるということ。愛情をもって接して欲しい」と話しました。新たな命の誕生に立ち会う感動、日々の世話を通して子牛が元気に成長する姿や愛情をかけた分、牛が応えてくれる瞬間に大きなやりがいを感じます。今も義父母ほどの愛情をもって牛と接しているかと言われると疑問ですが、これからもその言葉を胸に頑張っていきたいと思います。

笑顔が絶えないおしどり夫婦



最後に一言

竜也さん　父の2度の大病や昨年は家族が新型コロナに感染。また牛に関しても夏場の体調管理や真冬の子牛の風邪などには細心の注意が必要です。繁殖牛農家は人も牛も常に元気でないとダメということですね。だから健康第一を心がけています！

　今後の目標としては、親牛を22頭まで増やして、安定した子牛が出荷できるようにしていきたいです。日々の地道な作業に取り組み、市場で高い評価を得たり、肥育先で「大きく育ったよ」と言ってもらえるように愛情を込めて育てていきます。畜産は牛肉価格の下落や投資額が大きいなど常に不安がつきまといます。ただ小学校の1／2成人式で10歳の息子が「将来お父さんの後を継ぎたいが、牛の事を知らないので勉強したい」と笑顔で発表してくれました。やってよかったと感じた瞬間でした。ただ13歳になった中学生の息子が今も同じ気持ちかどうかは…（苦笑）

なるほど営農ボックス

かぼちゃの栽培

かぼちゃは、ウリ科かぼちゃ属に属する果菜の総称です。原産地は中央アメリカで、メキシコの洞窟からは紀元前数千年前の種が発見されています。日本には16世紀中頃にポルトガル人によって伝えられました。

現在、日本で栽培されているかぼちゃは、主に以下の3種類に分けられます。

【西洋かぼちゃ】
江戸末期に導入され、現在流通しているかぼちゃのほとんどを占めています。ほくほくとした食感と強い甘みが特徴で、ビタミンA、C、Eといった抗酸化ビタミンが豊富です。代表的な品種に「栗かぼちゃ」や「坊ちゃんかぼちゃ」などがあります。

【日本かぼちゃ】
水分が多くねっとりとした食感が特徴で、甘みは控えめです。煮崩れしにくいため、煮物などに向いています。伝統野菜として各地に残っています。

【ペポかぼちゃ】
明治以降に導入され、ユニークな形のものが多いのが特徴です。ズッキーニや金糸瓜（そうめんかぼちゃ）などがこれに分類されます。観賞用として使われることもあります。

❶栽培のポイント

・乾燥に強く、過湿には弱いので排水の良い畑で栽培を行う。
・ツルが伸びて広がるので広い栽培面積が必要
・「つるぼけ」しやすいので、基肥は控えめにする。
・わき芽の生育が旺盛で、放置すると作業性が悪くなるので小さいうちから芽かきを行う。
・かぼちゃの受粉は、主にミツバチなどの昆虫によって行われます。しかし、天候不順などで虫の活動が少ない場合や、確実に実をつけさせたい場合には、人工受粉を行うこと。
・収穫期が近づいたら玉直しをして、全体の色づきをよくする。

生育の特徴

たねまきから収穫までの期間は110～140日くらいで生育適温は25～30℃になります。生育、開花、結実には高温を要する夏野菜ですが、ウリ類の中では低温に耐えられる野菜です。

日本では夏に収穫されるイメージがありますが、貯蔵がきく野菜なので、収穫後すぐに食べるよりも追熟させた方が水分が抜けて美味しくなり、栄養価も高まります。このため、冬至にかぼちゃを食べる習慣があります。

❷作型

露地栽培

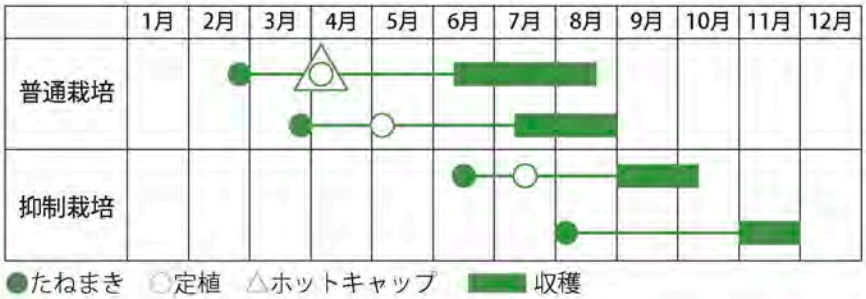
露地栽培では、一般地では4月下旬頃に定植し、本葉4～5枚で親つるを摘心して子づる2～3本仕立てにするのが一般的です。

トンネル栽培

トンネル栽培は露地普通栽培よりも約1か月早く植え付けを行うため、収穫もそれだけ早まります。地域によっては、中間地の普通栽培とほぼ同時期の収穫になることもあります。

抑制栽培

抑制栽培は、夏に種まきや定植を行い、秋から冬にかけて収穫する作型です。冬至に食べるかぼちゃは、この抑制栽培によるもので、8月から9月頃に種をまき、11月中旬から12月上旬が収穫適期となります。



施肥設計例　(kg/a)

肥料	基肥	追肥
完熟堆肥	200	
サンライム	10	
化成肥料14-14-14	5	7

❸収穫

開花後、35～50日で完熟します。ヘタ（果梗）がコルクのようにひび割れ、茶色く枯れてきたら収穫のサインです。完全にコルク化するまで待つと良いでしょう。

かぼちゃは収穫したばかりだと水分が多く甘みが少ないので、追熟させることででんぷんが糖に変わり、甘みが増しておいしくなります。2週間ほど追熟させましょう。

❹病害虫対策

かぼちゃに発生しやすい主な病害虫

ウリハムシ

体長7～9㎜ほどの橙黄色の甲虫です。葉を不規則な半円形や円形に食害し、ひどい場合は葉が網目状になります。生育初期に被害を受けると株が枯れることもあります。

葉を食害するウリハムシ

アブラムシ

アブラムシは新芽や葉に群生し、汁を吸うことで生育を阻害する代表的な害虫です。さらにモザイク病などのウイルス病を媒介することもあるので注意が必要です。

うどんこ病

葉にうどん粉をまぶしたような白い斑点が現れ、次第に拡大して円形になります。病状が進むと葉が枯れてしまいます。乾燥した条件下で発生しやすく、下葉から発生することが多いです。

うどんこ病

疫病

主に果実やつるに発生します。つるは暗緑色に軟化し、後に白いカビが生えます。果実も白いカビに覆われ、軟化して腐敗します。排水の悪い畑で連作すると発生しやすく、高畝にするなどの対策が有効です。葉に水浸状で褐色の病斑ができることもあります。

参考文献：新版　野菜栽培の基礎

残留農薬検査実績について

ＪＡ山口県では、出荷される農産物の安全・安心の確保のため、出荷前の残留農薬検査を行っています。また研修会等を通じて農薬の適正使用に取り組んでいます。

■１月の検査実績

◎（一社）やまぐち食の安心・安全研究センター
……36品目129検体

▷検査の結果、基準値超過１件・適用外農薬が1件検出されましたが、流通はしておりません。

生産者の皆様へ

農薬を使用する際は、農薬飛散防止対策の実施に努めなければいけません。使用方法の順守はもちろんのこと、周囲に影響のない天候（無風・弱風）や時間帯での散布を基本として、飛散低減ノズルの使用、緩衝地帯・防薬ネットの設置、近隣住民への周知に努める必要があります。

青壮年部の輪

女性部・青壮年部の活動を紹介します

防府とくぢ／青壮年部

次世代を担う仲間が集結
青壮年部部員・職員交流会

防府とくぢ青壮年部は、JAの営農職員や新入職員との交流会を開催しました。現場で活躍する部員とJA職員が直接対話することで、相互理解と結束を深めることが目的です。この繋がりを大切に、今後も組織の発展と地域農業のさらなる活性化を目指します。

周防大島／女性部

エルダー交流会

岩国統括本部女性部のエルダー部員と東和農産物加工センターで１月28日にミカン缶詰作りを行いました。昨年に続く行事で、用意した50kgのミカンで168個の缶詰を作りました。食べ頃は３か月後で、今から完成が楽しみです。これからも、様々な体験を通じて交流を深めていきます。

周南／女性部

こんにゃく作りで交流

湯野支部と戸田支部は１月23日に、ふきのとう講座でこんにゃく作りをしました。部員が用意した３kgのこんにゃく芋から、72個のこんにゃくが出来ました。出来上がったこんにゃくは、部員で分け合い皆、大喜びでした。

長門／女性部

おむすびの日

長門統括本部女性部は「おむすびの日」にちなんで、各自が好きな具でおむすびを握り、豚汁と部員が持ち寄ったお漬物でお昼ご飯を一緒に食べました。その後、お互いに教えあいながら防災ボトルホルダーを作成し、ひとりひとりが改めて防災について考えました。

下関／女性部

活動の成果を披露
目的別グループ活動発表会

下関ブロックは１月24日、目的別グループ活動発表会を開きました。12支部82人が参加し、日頃の活動内容を披露しました。ステージ発表では太極拳や日本舞踊、カラオケなどが披露され、作品展示では絵手紙やクラフト手芸、生け花などが展示されました。

萩／女性部

周南統括本部女性部と統括間交流

萩統括本部女性部は１月23日、周南統括本部を訪問し、周南女性部の皆さんと統括間交流を行いました。交流会では双方の活動内容について意見交換を行い、和やかな雰囲気の中で親睦を深めました。お互いの取り組みを知る、たいへん有意義な時間となりました。

女性部 つながり

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

宇部／女性部

宇部女性部支部長・エルダー委員・事務局合同会議

農繁期の６・10月を除く毎月第１火曜日に統括本部で会議を開催しています。２月３日は、節分で鬼も登場。会議では、活動で培った信頼関係と経験を活かし議論を重ね、ベクトルを合わせながら結束力を高め、女性部活動を進めています。

南すおう／女性部

草刈り機の使い方学ぶ 女性部営農講座

南すおう農機センターの職員が講師を務め、草刈り機の特徴や使用方法、操作時の注意点などを習いました。部員たちは日頃使用していて気になっていたことなどを熱心に質問し、担当した職員が丁寧に回答しました。

岩国／女性部

フラワーアレンジメントに挑戦

美和支部の部員13人が毎年恒例となっているフラワーアレンジメントを楽しみました。先生の指導を受けながら、用意された花を各自で思い思いに生け、見事なアレンジメントを完成させ、皆さん大満足でした。

美祢／青壮年部

新人職員農作業体験

入組1、2年目の新入職員9人と青壮年部盟友による農作業体験として「美東ごぼう」の収穫を行いました。寒風吹き荒れる中、秋吉台上の圃場（村上農園）の地中から一本ずつ丁寧に掘り出す作業を行い、特産品の理解を深めました。また作業後の懇親会では若い盟友と交流を図ることができました。

山口／女性部

山口／青壮年部

テレオンふゆフェスタに協力

大内支部の女性部や青壮年部、JAが協力し、tys主催のテレオンふゆフェスタの「ぜんざいでも食べよう会」として、クロル舞さんと杵つき餅をつくり、地域住民にぜんざいを振舞いました。

Local Topics

★ローカル・トピックス★

各地のnewsをお届けします

防府とくぢ

襷で繋ぐ地域の輪 防府市内一周駅伝に出場

第83回防府市内一周駅伝に、2チームが出場しました。仲間と心を一つに襷を繋ぎ、沿道からの温かな声援に背中を押されながら、全員でゴールを目指して力走しました。選手、スタッフ一丸となり、地域とのつながりと達成感を分かち合う、清々しい一日となりました。

南すおう

良品出荷に向けて いちご部会目合わせ会

「さちのか」「紅ほっぺ」「恋みのり」の現物を用いて大きさ、色、形、傷など出荷規格を確認し、いちご部会員が同じ基準で出荷できるよう目合わせ会を行いました。イチゴの出荷は３月下旬にピークを迎え、５月中旬ころまで続く見込みとなっています。

美祢

子ども食堂へお米の贈呈

美祢統括本部管内で運営されている子ども食堂へ、県内産の「ひとめぼれ」を贈呈しました。伊佐町の「地域食堂ポカポカ」、美東町の「ちぃちゃん食堂」と「きずな食堂」の代表者が統括本部を訪れ、中村本部長より10袋（100kg）を受け取りました。

萩

JAと地域で進める食農教育

1月29日、「萩市の食育を支える会」の研修会にJA職員が講師として参加し、萩統括管内の米の品種や栽培環境、また米を取り巻く現状などを説明しました。今後も地域と一緒になって食農教育に取り組んでいきます。

宇部

令和8年産小麦定点調査

調査の対象となった品種は「せときらら」で、学校給食のパンなどに使用されます。各営農センター職員と美祢農林水産事務所職員が生育状況や病害虫の発生状況、圃場管理などを確認。今後も毎月の巡回を行い、生育データと個人ごとの栽培日誌を活用して、生産者へ指導をしていきます。追肥、病害虫防除を確実に行い、多収・高品質で実需者に求められる小麦の栽培を目指します。

岩国

岸根ぐり土曜講座を開催

山口県が全国に誇る歴史ある品種、くりの王様「岸根ぐり」の灯火を後世へと引き継ぎ、産地の再生ならびに時代を担う栽培者の確保に向け、「岸根ぐり土曜講座」が１月31日に開講されました。22人が参加し、座学と実習で剪定について学びました。

長門

飼料用米収量コンテスト

長門統括本部飼料用米生産者協議会は12月18日に、第３回ながと飼料用米収量コンテストの表彰式を開き、日置地区の上手仁義さんが10a当たり770.2kgで最も収量の多い生産者として３年連続で長門市長賞を受賞しました。上手さんは３年連続の受賞を喜びました。

下関

豊穣と安泰を祈る 伝統行事「申緒打ち」

形山地区で１月10日、伝統行事「申緒（さるおう）打ち」が行われました。出来上がった申緒を、庚申塚（こうしんづか）に飾り供えました。豊穣と安泰を願うと共に、伝統をつないでいきます。

山口

青色申告会

管内３会場をはじめWEBを使用した青色申告会を開催しました。約150人が山口税務署個人課税第一部門記帳指導推進官から決算において誤りやすい点や、令和７年分の確定申告から適用される税制改正など学びました。

周防大島

米軍岩国基地の児童へ「山口大島みかん」を贈る

米海兵隊岩国基地の小学校へ、１月30日に「山口大島みかん」100kg贈りました。杉原統括本部長は「とても甘くてジューシーなミカンです」と英語でスピーチ。児童からは日本語の歌が贈られました。10年以上続く恒例行事で、地元特産品の寄贈を通して日米の友好を深めています。

周南

新春甘酒振る舞いで利用者に笑顔

周南北西部営農センターは１月10日に直売所サポーターと㈱はつもみぢの協力により、周南市の「菜さい来んさい！三田川店」で利用者と出荷者に麹甘酒を振る舞いました。来店者は温かい麹甘酒を試飲し、買い物を楽しみました。

春のいちご祭り開催！

日時：令和8年3月21日（土）9：00～
場所：遊気百菜館（柳井市中央三丁目17-15）

新鮮な「やないいちご」の特売!!
（※数量に限りあり）

- **さちのか…**酸味と甘みのバランスが良く、濃厚な味わい
- **紅ほっぺ…**甘みが強く、果肉が柔らかい
- **恋みのり…**ジューシーで爽やかな香りが味わえる

「南すおういちご部会」が愛情込めてつくった美味しいイチゴです！是非ご賞味ください♪

花苗の無料配布あり（※なくなり次第終了）

JA山口県 広報モニター

第2期 JAをもっと知り隊！広め隊！ ＼大募集！／

JA山口県の広報活動を一緒に盛り上げていただけるモニターさんを募集します！

対　象	山口県にお住まいの満20歳以上の方で、モニター任期が終了するまで継続して県内在住が見込まれ、ＪＡに興味・関心をもっている方または今から興味を持とうという方（組合員、ＪＡの利用の有無は問いません）
任　期	令和8年5月1日(金)～令和9年4月30日(金)
募集人員	10人程度(外部有識者含む) ※応募多数の場合は選考 ※外部有識者は、外部のメディア関係者を予定しています
役　割	・広報全般への助言・地域の身近な情報の提供 ・年２回の視察・意見交換会(予定)
謝　礼	県産米５kg（年４回）
応募方法	「広報モニター応募」と明記し、氏名・年齢・職業・郵便番号・住所・電話番号・応募動機を記入し、下記のいずれかの方法で応募する ①ハガキ　②Eメール ※様式は任意 ※電話での応募は受け付けません
応募期日	令和８年４月10日(金)
応 募 先	〒754-0002 山口県山口市小郡下郷2139番地 JA山口県　総務部くらしの活動課　広報モニター係 Eメール：12-kurasi@ja-ymg.or.jp

役員改選に係る地区選出経営管理委員候補者の選出について

標記については、令和8年6月の役員改選を踏まえ、下記のとおり実施予定ですので、お知らせいたします。
なお、候補者については、受付締切後の地区別総代協議会にて選出されることとなります。

公告・立候補等の受付開始
令和８年３月２日(月)
統括本部にて受付

▶

立候補等の受付締切
令和８年３月９日(月)17時まで
※届出は営業時間内にお願いします。

【候補者の要件等】
1．就任の日の属する年の４月１日現在における満年齢が70歳未満の方となります。
2．各地区の定数のうち、半数以上の方は認定農業者であることが必要となります。
3．任期は令和11年６月開催予定の通常総代会終結までとなります。

地区名	周防大島	岩国	南すおう	周南	防府とくぢ	山口	宇部	下関	美祢	長門	萩	合計
定数	2	3	2	3	2	3	2	3	2	2	2	26
※最低限必要な認定農業者数	1	2	1	2	1	2	1	2	1	1	1	15

2026年4月

JA山口県 総合ポイントカードが 新しくなります！

新規会員申込

総合ポイントアプリからの新規加入限定

100ポイント

カードによる新規会員申込およびカードからアプリへの切替時は100ポイントは付与されません。

来店ポイント

総合ポイントアプリ会員限定

直売所に来店し総合ポイントアプリでQRコードを読み取ると

1ポイント

ポイント付与は同一店舗1日1回限りです。

直売所・購買店舗等でお買物

直売所・購買店舗（生活購買商品）でお買物
支所や店舗でお中元・お歳暮・くらしの宅配便のお申込み等

組合員はポイント2倍※1

組合員 **200円で2ポイント**※1

組合員外 **200円で1ポイント**

共済ボーナス

新たにこども共済がボーナス条件に加わります。

こども共済ご契約者様はランクアップ！※1

営農経済ボーナス

新たに直売所での年間購入金額がボーナス条件に加わります。

1年間に60,000円以上お買い物をされる方はランクアップ！※1

※1 ボーナスポイント登録をされた方が対象となります。

システム変更に伴うお知らせ

- 2026年3月29日（日）から3月31日（火）の期間中は、総合ポイントアプリの新規登録・カードからの切替・登録内容変更操作を行うことはできません。
- 2026年4月1日（水）は、新システムへの移行のため全会員の総合ポイント保有残高が一旦ゼロとなり、ポイント利用および利用履歴の閲覧を行うことができません。ポイント付与は通常通り行います。
- 2026年4月2日（木）に保有ポイントの移行が完了し、残高が継承されますので、通常通りご利用いただけるようになります。

ポイント会員の皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

JAカード一体型カードについて

JAカード（クレジットカード）ポイントカード一体型カードについては2026年4月1日以降ポイント機能がご利用できません。

総合ポイントアプリへの切替をお願いいたします。

保有ポイントの失効について

2023年4月1日～2024年3月31日までに付与されたポイントは2026年3月31日で失効となりますのでご注意ください。

総合ポイントアプリの登録はこちらから

山口県内にお住まいの方は、どなたでも JA山口県の組合員に加入することができます。

（組合員加入手続きについては渉外担当者または窓口担当者におたずねください。）

第5回 JA山口県

農業川柳コンテスト

結果発表

テーマ 食や農への想い

［応募総数 303句］

最優秀賞

ありがたや 苦難乗り越え 稲稔る

柳号：木原陽一郎さん（下松市）

評 日照りや風雨等に耐えて稔った稲に感謝しての一句。「ありがたや」に実際に米作りに携わった人ならでは思いが詠まれている。

優秀賞

いただきます 命の重さ 手にのせて

柳号：ｊｏｊｏの奇妙な川柳さん（下関市）

評 これから頂く食べ物を手に乗せて、それを命の重さだと詠んでいる作者の感性が素晴らしい。確かに食こそが命の根源だ。

優秀賞

玉手箱 開ける心境 芋を掘る

柳号：芋虫さん（山口市）

評 お芋掘りは楽しい。茎を引き上げるとどの位芋が付いているか分からないからだ。それを「玉手箱開ける」とは言い得て妙。

佳作（15句）

「おいしいね」
産地山口　「なるほどね」
柳号：やまのぐっちんさん（光市）

育てれば　ピーマンだって　おともだち
柳号：はるのすけさん（山口市）

直売所　推しの名探し　お買い物
柳号：りこママさん（山口市）

田園が　広がる里を　残したい
柳号：藤重哲夫さん（岩国市）

新米も　農家の苦労　あってこそ
柳号：ひろさん（山陽小野田市）

有難や　野菜作りで　まだ元気
柳号：元森淑子さん（光市）

子の汗も　並ぶはざかけ　黄金色
柳号：むーみんさん（防府市）

ぶちうまい！　その一言で　報われる
柳号：畑大好きおじちゃんさん（宇部市）

おいしいな　じぶんでとった　プチトマト
柳号：高木智生さん（防府市）

おいしさと　安心感も　食べている
柳号：のんちゃんさん（山口市）

朝露の　光る野菜の　あまい味
柳号：坂本うさぎさん（防府市）

育ってね　つぶやきながら　野良仕事
柳号：今橋大樹さん（山口市）

炊きたての　新米食べて　みな笑顔
柳号：86さん（山口市）

粘土地で　育つ野菜の　味たしか
柳号：濵田サダ子さん（山陽小野田市）

いただきます　庭で育てた　ミニトマト
柳号：兼業主婦柳人さん（下関市）

全体を通しての講評

投句数303句、その中から18句入選とかなりの厳選でしたので、わずかな所で涙をのんだ句も多々ありました。最優秀句は稲を主役にして米作農家の心を詠んだところが良かったです。優秀句２句もそれぞれ発想がユニークで目につきました。川柳を通じて皆様の「食や農への想い」に触れることができて幸いでした。

審査員
安藤　紀楽 先生
（全日本川柳協会理事）

東京都在住。現在、JAグループのファミリーマガジン『家の光』川柳欄および川柳道場の選者。

JA山口県女性大会

JA山口県女性部は2月6日、山口市の山口県健康づくりセンターで「第7回JA山口県女性大会」を開催し、同部員・JAグループ役職員ら約350人が参加しました。活動体験発表では、県内各地の代表4人が地域の仲間と取り組む活動を発表しました。

周南統括本部女性部の松本幸江さんは「私の畑学校」と題し、山間部で育ち、農家に嫁いでからも、堆肥中心の土づくりで無農薬栽培を実現し、虫を「敵」ではなく地球の掃除屋さんと考え、「風の谷のナウシカ」を例に自然との共生の大切さを分かりやすく紹介しました。

山口統括本部女性部の伊藤恵美子さんは「私の人生を豊かに変えた花と女性部活動」と題し、花の技術を活かした、支所の寄せ植えや飾り付けなど地域に彩りと交流の場を提供し、女性部活動では自主・自立と世代間連携活動についての紹介をしました。

宇部統括本部女性部の芥川敬子さんは「JA女性部の仲間がくれる力・勇気・笑顔～私の原点とデジャブ」と題し、女性部での仲間との出会いが力を与えてくれると感じ、活動を続け、支部長として「女性のつどい」や絵手紙・しめ縄・フラダンスなど多彩な教室や地域行事を運営し、新規会員増加や地域連携についての紹介をしました。

防府とくぢ統括本部女性部の熊安悦子さんは「サフランで花開く農の道」と題し、ハーブとの出会い、園芸療法の資格を取得しての「えこの里」でのサフランやラベンダーなどのハーブ栽培を通じた、癒しと地域活性化の取り組みや、JAや地域と連携し、イベント等での地産地消活動の紹介をしました。

審査の結果、山口統括本部の伊藤さんが代表に選ばれました。伊藤さんは、7月に徳島県で行われる中四国地区JA女性組織リーダー研修会に県代表として出場します。

JA全国女性大会

JA全国女性組織協議会は1月20日、21日、東京都のホテルイースト21東京で「第71回JA女性大会」を開催しました。全国のJA女性組織から約440人が参加し、山口県からは8人が参加しました。

『「あい♡」からはじまる「元気な地域」をみんなの力で』をメインスローガンに、各県代表者によるJA女性組織活動体験発表や気象予報士・防災士くぼてんきさんによる記念講演が行われたほか、「愛があふれる、これが私たちの自慢できる女性組織活動」をテーマに行われた30秒スピーチでは、山口県を代表して、美祢統括本部女性部の倉増敬子部長がスピーチをされました。

JA山口県女性部×コープやまぐち 交流会

JA山口県女性部は1月29日、宇部市のコープやまぐち「ここと宇部店」で生活協同組合コープやまぐち女性役員と一緒に、県産米・農畜産物を広く県民へ伝えるために、おにぎりと豚汁の試食会を行いました。また、試食会に先立ち、県農畜産物をアピールするための勉強会として、12月には米の生産や流通、県内農業者との意見交換会を行うなどし、1月の試食会が効果的なイベントになるよう備えてきました。

当日は氷点下に近い寒空となりましたが、おにぎり豚汁ともに200食すべて配布し、実際に豚汁を受け取られた方は、「とても美味しい」とレシピを聞かれる方もおられました。その他には、お米の学習パネルの展示やJA全農マスコットキャラクターの「よねちゃん」やコープやまぐち「ここちゃん」も登場し、会場は大いに盛り上がりました。

子牛市場初市

山口市の山口中央家畜市場で1月19日、子牛市場の初市を開きました。黒毛和種の雌119頭、去勢118頭、計237頭が上場され、取引最高値は、雌834千円、去勢1,021千円、全体の平均取引価格は前年同月比201,716円高の747,012円となりました。同日には、令和7年子牛市場年間表彰を行いました。表彰については次のとおりです。

◆雌子牛
最高値販売者：松尾　弘子（長門市）
最高値購買者：兼原まゆみ（岩国市）
◆去勢子牛
最高値販売者：原川　孝夫（美祢市）
最高値購買者：株式会社福嶋牧場（山口市）

▲せりの様子

山口県産米贈呈式

山口市JAビルにて1月21日、「県内子ども食堂への山口県産米贈呈式」を開きました。平岡武会長より、山口県こども食堂・子どもの居場所ネットワークの金子淳子代表へ山口県産米が贈呈され、県内76か所の子ども食堂へ県産の新米239袋（1袋10キロ）が、食堂を通じて、新米が届けられます。

この取り組みは、令和3年から始まり今年で5年目です。昨今の物価高騰等による影響を受けているご家庭も多く、同時に故郷への愛着や生産者への感謝のために新米を実際に食べていただき、食を通じた地域農業や食への関心を高めてもらうことを目的として行っています。

▲県産米を手にする平岡会長（左）と金子代表

高齢者福祉施設へ山口みかんを贈呈

JA山口県は、県内221の高齢者福祉施設の利用者1万3567人に「山口みかん」242箱（約2.5トン）を贈りました。1月28日に、萩市の南萩支所で贈呈式を開きました。JA山口県経営管理委員会の阿部哲志副会長と萩統括本部の椿一人本部長が施設利用者の岡嘉明さんと藤田英代さんに手渡しました。

この取り組みは、県内産業や地域社会を支えてきた方々に感謝を込めて昭和43年から実施し58回目を迎えました。今年のみかんは猛暑の影響もありましたが、糖度も酸味も平年より良好で食味よく仕上がっています。

実際に受け取ったみかんを食べてみた藤田さんは「甘味が強くおいしいです。たいへんうれしく思います」と話しました。

▲山口みかんを贈呈する阿部副会長（奥）と椿本部長（手前）

健康応援

楽しい思い出は、元気な体から！～元検疫官のナースが教える～

海外渡航の感染症対策

小郡第一総合病院　感染管理認定看護師　**藤永　聡**

みなさん、こんにちは！小郡第一総合病院の感染管理認定看護師の藤永です。実は私、以前は羽田空港国際線ターミナルで「検疫官（けんえきかん）」をしていました。検疫官は、海外からの感染症を防ぐ、「水際のガードマン」です。久しぶりの海外旅行「せっかくの旅行が病気で台無し…」なんてことにならないよう、元検疫官の視点から、旅の準備と同じくらい大切な「予防のコツ」をお伝えします。

❶出発前にチェック！「FORTH（フォース）」

パスポート準備の次は、厚生労働省の検疫所サイト「FORTH（フォース）」をチェック！「今、行き先の国でどんな病気が流行っているか」が天気予報のように分かります。国によっては入国に予防接種証明が必要な場合もあるので、必ず確認しましょう。

行き先を選ぶと、必要なワクチンや感染症流行情報なども分かります。

❷現地で気をつける「3つのポイント」

海外には日本にいない病原体がたくさん。でも、この3つを守ればリスクはぐっと減ります！

蚊に刺されない！（デング熱・マラリアなど）

南国やアジアでは蚊が病気を運びます。長袖を着たり、こまめに虫よけスプレー（殺虫成分DEETの濃度が肝心）を使いましょう。

水と食べ物に注意！（A型肝炎・感染性胃腸炎など）

「生水」はNG。氷入りドリンクやカットフルーツも要注意です。水はミネラルウォーターを、食事は**十分に加熱されたもの**を選びましょう。

動物には触らない！（狂犬病など）

海外の犬や猫、猿は狂犬病などのウイルスを持っていることがあります。かわいくても「見るだけ」にして、絶対に触らないでください。狂犬病の動物に咬まれたり、傷のある皮膚をなめられて発症すると100％死にます…。

❸日本に帰国したら…「検疫」は健康の味方

海外旅行に行かれたことがある方は、空港のサーモグラフィー（体温測定）、覚えていますか？あそこが検疫ブースです。もし帰国時に「熱っぽい」「お腹が痛い」と感じたら、無理せず検疫官に声をかけてください。皆さんを怒ったりしません（笑）。「どこの病院に行けばいいか」を相談できる、最初のサポーターです。（※帰宅後に受診する場合も、必ず「○○へ旅行した」と医師に伝えましょう）

◆おわりに：ワクチンは最強の「お守り」

正しい知識があれば、海外旅行はもっと安全になります。そして、忘れてはいけないのが『ワクチン』です。**A型肝炎や麻疹など、事前に打つことで防げる病気はたくさんあります。ワクチンはあなたを守る**「見えないお守り」です。種類によっては数回接種が必要なため、旅行が決まったら早めに渡航外来などで相談してくださいね。

素敵な旅の思い出を、元気な体と一緒に持ち帰ってきてください！

【参考・出典】厚生労働省検疫所FORTH（フォース）https://www.forth.go.jp/

旅の安全チェックリスト

- □「FORTH」で行き先の感染症情報を調べた
- □必要な予防接種（ワクチン）の計画を立てた
- □常備薬・虫よけ・日焼け止めを準備した
- □海外旅行保険に入った（↑とても大事！）
- □帰国時、体調が悪ければ「検疫官」に相談する

カレー風味の蒸し煮

かぼちゃのサブジ

材料(2人分) [調理時間:約20分]

かぼちゃ……200ｇ
にんにく・しょうが……各1かけ
ミックスビーンズ……50ｇ
オリーブ油……大さじ1
カレー粉……小さじ1
砂糖……ひとつまみ
塩……少々

作り方

①かぼちゃを小さい一口大に切ります。
にんにく・しょうがは、みじん切りにします。

②ミックスビーンズは、缶詰なら水分を切って準備します。(使用する豆は、お好みで)

③鍋にオリーブ油、にんにく、しょうがを入れて弱火にかけます。
香りが出てきたらかぼちゃを入れてさっと炒め、ふたをして中弱火で3分ほど蒸し煮にします。

④カレー粉、砂糖、塩、豆を加え、再びふたをして3分ほど弱火で蒸し煮にします。

マヨネーズを加えてもおいしいです

お便りコーナー

みなさんからのお便りを募集しています。
絵手紙も大歓迎！宛先は、クロスワードパズルの応募先「お便り係」まで。

1月号応募総数 520通

正月の過ごし方

三 が日、ゆっくり夫婦でおせちを食べながらテレビを見ると言いたいですが、お正月には子供が孫を連れて帰省するので、食べる事も大変ですが孫に元気を貰いすぎて良い疲れが出ます(*^^*)年末年始、来年もみんなが元気に過ごせる事を願うばかりです。
(田布施町　M・Oさん)

毎 年、おせち料理を作っていますが、栗きんとんの作り方を変えてみました。芋は茹でずに、焼き芋を作って潰して作ってみました。芋自体の甘さが強く、加える砂糖が少なくなり家族にも大好評でした。
(新潟県　M・Tさん)

寝 正月もします。おせちは息子からのプレゼント。正月はゆっくりしようと。お餅食べて、お宮参り、年賀状をゆっくり見て電話したくなった人に携帯して声聞いて元気を確かめてこの一年頑張ろうと思うのです。
(萩市　Y・Kさん)

お 正月といえば、何といっても「トランプ&かるたあそび!!」年齢問わず、孫からじいちゃんばあちゃんまでキャーキャー言いながら楽しんでいます。電子機器類が流行し、一人で無言でのあそびが主流の現代。このカード類一つで家族の触れ合いが増し、日本古来の昔ながらの伝統あそびの良さが味わえます。
(山口市　Y・Aさん)

今 年は寝正月。自分でついたお餅を毎日食べて幸せでした。年末に孫と息子とで本当に久しぶりについたお餅です。息子の好きなこしあんを包んだあんころ餅も絶品でした。新しい年が穏やかで健やかでありますように。また元気で畑仕事ができますように。
(美祢市　S・Oさん)

たくさんのお便りありがとうございました。みなさんのご意見・ご要望につきましては、今後の事業や広報誌作成に活かしてまいります。

今月のお題 「卒業したこと・したいこと」

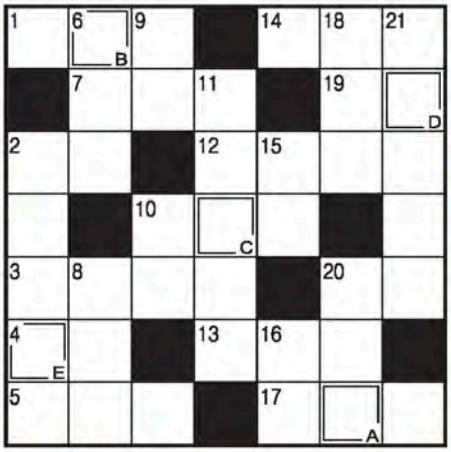
クロスワードの答えと一緒にお送りください。これまで通り今月号の感想等もお待ちしています。

応募先のメールアドレスが変更になります！ご注意ください。【新しい送付先メールアドレス】12-oubo@ja-ymg.or.jp

※応募先メールアドレスが変わりました

パズルを解いてプレゼントをもらおう!

クロスワード



↓ タテのカギ

②卒業生代表が壇上で卒業――を受け取った
⑥チューナーで選局して聞きます
⑧わんこそばやじゃじゃ麺で知られる県
⑨精算するために並びます
⑩アルファベットの7番目
⑪通知表ともいいます
⑮走ること。ウイニング――
⑯日本庭園の池に似合う魚
⑱熱波師が活躍しているところもあります
⑳糖度計の――を読み取った
㉑夫婦――で旅行に行った

→ ヨコのカギ

①お雛様にひな――をお供えした
②力士が土俵にまくもの
③オーストリアの首都
④眉間に寄せるもの
⑤スケジュール帳に書き込みます
⑦――は小説よりも奇なり
⑩――、雷、火事、親父
⑫タロットカードや水晶玉などを使っておこないます
⑬出身校をこういうことも
⑭パーが紙ならチョキは
⑰ショートケーキの真っ赤な彩り果実
⑲鳴門海峡には大きなものが発生
⑳神社の参拝時に鳴らすこともあります

二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょう? 正解した方の中から、毎月抽選でプレゼントが当たります!

答えは...

A	B	C	D	E

先月号解答

A B C D
ゴウカク

今月のプレゼント
Aコープ商品詰め合わせセットを20人の方に

応募方法
下記の必要事項をご記入いただき、ハガキまたはメールにてご応募ください。
❶パズルの答え❷郵便番号・住所・氏名・年齢・職業・連絡先❸今月のテーマ「卒業したこと・したいこと」や今月号の感想など何でもお待ちしています。

応募先
ハガキ: 754-0002 山口県山口市小郡下郷2139番地 「JAやまぐちけん」プレゼントクイズ係
メール: 12-oubo@ja-ymg.or.jp ※件名に「クイズ応募」と記入してください。

応募締切 3/25[水] 消印有効 メールは締切日送信分まで

※クイズの当選は賞品の発送をもって発表に代えさせていただきます。
※お名前・住所の書かれていないハガキが多いです。投函する前にもう一度確認をお願いします。

お得な
JAの家庭雑誌
家の光

定価(税込) 毎号統一価格 900円
※令和7年9月号より定価改定をいたします。ご理解のほどよろしくお願いいたします。
購読のお申し込みはJAへ
※表紙の内容は変更になる場合があります。

おいしくて 笑顔になる
うまいル UMAIRU みーつけた!
みんなのよい食 プロジェクト
放送スケジュール(予定)
2/21・2/28 春菊 (防府市)
3/7・3/14 せとみ (周防大島町)
※放送スケジュールは変更となることがあります。詳しくは、下記二次元コードよりご確認ください。
毎週土曜日 17:24～ tysで放送
見逃した方はこちらでご覧いただけます。
https://www.ja-ymg.or.jp/umairu/
うまいル 検索
安全・安心な山口県の農畜産物を応援する番組。

地域農業を元気に話題や情報が満載

購読料1カ月(税込み)
本紙 3,100円
電子版 2,403円
●購読のお申し込みはJAへ
THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS 日本農業新聞 https://www.agrinews.co.jp
知る、活かす、つなぐ～JAグループ情報共有運動

JA山口県公式X(旧Twitter)
「番組のお知らせ」や「おすすめのレシピ」などを発信中!
@umairu_mituketa「うまいル」でユーザー検索してね。
フォローしてね!!

JA山口県公式インスタグラムで旬の情報を発信中!
一部の統括本部でも地域に合わせたインスタグラムを開設しています!
JA山口県公式インスタグラムはコチラ▶
JA.YAMACUCHIKEN

第12回 理事会だより

［令和8年1月21日(水)開催］

提案事項はすべて原案通り承認されました。

議　案

第１号議案　購買店舗の廃止について
第２号議案　貸付について
第３号議案　リース取引による固定資産（共済端末機）の取得について
第４号議案　資産の償却について
第５号議案　子会社における事業の廃止について
第６号議案　役員報酬審議会委員の選任について
第７号議案　出資の減口について

報告・確認事項

(1)　令和７年度12 月末事業実績について
(2)　余裕金の運用状況・四半期運用方針について
(3)　金融円滑化報告について
(4)　統合的リスク管理に基づくリスク取得状況について
(5)　コンプライアンスにかかる定期報告について
(6)　総代代表者会議・地区別総代協議会の質疑応答について
(7)　令和７年度上半期末定期監査報告について
(8)　米麦共同乾燥調製施設再編整備計画における経過について

JAの概要［令和8年1月31日(土)現在］

組合員数	206,575人
〔正：62,001人　准：144,574人〕	
正職員数(2/1現在)	1,851人
貯金	1兆2,110億3,541万円
貸出金	3,555億7,376万円
販売高	203億1,623万円
購買品供給高	107億4,269万円
長期共済保有高	3兆4,985億3,291万円
出資金	159億1,396万円

第10回 経営管理委員会だより

［令和8年１月30日(金)開催］

提案事項はすべて原案通り承認されました。

議　案

第１号議案　リース取引による固定資産（共済端末機）の取得について
第２号議案　子会社における事業の廃止について
第３号議案　役員報酬審議会委員の選任について
第４号議案　経営管理委員の利益相反取引について①
第５号議案　経営管理委員の利益相反取引について②

報告・確認事項

(1)　令和７年度12月末事業実績について
(2)　購買店舗の廃止について
(3)　余裕金の運用状況・四半期方針について
(4)　統合的リスク管理に基づくリスク取得状況について
(5)　コンプライアンスにかかる定期報告について
(6)　資産の償却について
(7)　総代代表者会議・地区別総代協議会における質疑応答について
(8)　令和７年度上半期末定期監査報告について
(9)　米麦共同乾燥調製施設再編整備計画における経過について

令和6年4月

組合員・利用者の皆さまへ

集金業務にかかるお知らせ

（信用事業・共済事業以外）

●ＪＡ山口県の職員が、組合員・利用者の皆さまのご自宅などで、購買代金等を**「現金」**でお預かりする際は、**所定の「領収書」（上図）を発行いたしますので、必ずお受取りください。**

※集金する職員が「渉外担当者」のとき、所定の領収書（上図）ではなく、「受取書」を発行する場合がございます。

●返品の場合は、「領収書」または「受取書」が必要となりますので、**「領収書」または「受取書」は大切に保管してください。**

緊急連絡先（休日・時間外）

◆交通事故　ジコハクミアイ　0120-258931　受付時間　平日／17:00～翌朝9:00　土・日・祝日／終日

◆キャッシュカードの紛失・盗難　0120-027-026

◆JAカードの紛失・盗難（単体型・一体型）　0120-159-674　（24時間　365日）

JA山口県広報誌
2026.3月号 vol.83
ホームページ https://www.ja-yng.or.jp/

JA山口県ファーマーズマーケット
ここっちゃ
Farmer's Market

Farmer's Market Sweets Tour

直売所 おやつめぐり

とりたまバウム
各270円

出雲ファーム
グルテンフリースイーツ

山口市徳地で鶏卵の生産、加工等を行う出雲ファームでは、小麦アレルギーで“おいしい”を諦めなくていいようにと、小麦を使用しないグルテンフリーのスイーツづくりに取り組まれています。
お米を食べて育ったニワトリのたまご「こめたまご」と国産米粉を使用。
たまご本来の芳醇なコクや自然な甘みをお楽しみください。

※すべて税込価格

とりたまカステラ
各540円

チョコとりたまバウム
ホワイトチョコとりたまバウム
各380円

バウムクーヘン
1,300円

防府市 とれたて満菜

これからのオススメはこれ!!
●いちご ●フルーツトマト

住所／防府市中央町6-7
TEL／0835-23-6523
営業時間／9：00～17：00
定休日／12/31～1/4
駐車場／普通車40台

【発　行】山口県農業協同組合　【住　所】〒754-0002 山口県山口市小郡下郷2139番地　【TEL】083-973-3500　【FAX】083-976-6832
【発行日】令和8年2月25日　【編　集】総務部くらしの活動課　【印　刷】株式会社山口県農協印刷